

水素パネルトーク開催結果概要

脱炭素化の切り札とも言われる水素。世界初の液化水素運搬実証の拠点となった兵庫・神戸から、水素社会の実現に向けた取組について、N I R Oの牧村実理事長をコーディネーターとして、齋藤元彦兵庫県知事と久元喜造神戸市長によるパネルトークを開催し、兵庫県と神戸市が連携して、水素社会を先導する地域を目指して取組を推進していくことを発信しました。

- 1 日 時 令和4年9月2日（金曜日）13時00分～14時00分
- 2 場 所 神戸国際展示場（2号館3A会議室）
- 3 内 容

（1）プレゼンテーション

- ① 水素社会の実現に向けて 牧村 実（（公財）新産業創造研究機構理事長）
- ② 水素スマートシティ神戸構想の推進 久元 喜造（神戸市長）
- ③ 水素社会実現に向けた取組 齋藤 元彦（兵庫県知事）

（2）パネルトーク

〔コーディネーター〕 牧村理事長 〔パネリスト〕 齋藤知事、久元市長

<主な発言>

- ・水素産業は裾野が広い。製造こそ海外であるが、運搬・貯蔵・輸送など、かなり多数の企業が参入する余地や可能性がある。これを兵庫県で産業として根付かせたい。
- ・水素エネルギーの利活用拡大が課題。自治体間の連携による広域的な枠組みづくりが必要。自治体による支援には限界があるので、自治体が連携した国への働きかけも必要。
- ・兵庫県が水素社会を先導するため、神戸市と連携しながら取り組むことが重要。

<まとめ>

水素社会実現に向け、

- ①地域における水素の受入・供給インフラの整備支援
- ②水素関連産業の振興支援
- ③普及啓発・機運醸成・広域連携

などの取組を、兵庫県、神戸市、県内各自治体が協力して進めていくことが極めて重要。先駆者的に進めた神戸市、それらを県内全域に広げていく兵庫県。

兵庫県が有するポテンシャルを活かし、日本における水素社会の先導的な地域となるため、産業界、行政、さらにはアカデミアの方々が一体となり、推進していく。

